

曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

徳於拠

校長 岩崎 道郎

今年度に入ってから、委員会の子どもたちが、朝の放送で校歌を流してくれています。

コロナ禍で、教室では大きな声で校歌を歌うことが難しくなっていることもあり、校歌を忘れず、大事にしようという思いから始めてくれたようです。

さて、その校歌の1番に「高き徳器を成しぬべし」という歌詞があります。意味は簡単に言うと「人として行うべき正しい道を行いなさい」になるかと思いますが、子どもたちには、「人にやさしく」「人を思いやる」「正直に」といった言葉で伝えています。

曾根小学校の校祖 新保正興先生も「徳」について、とても大切に考えておられていたことが、校長室に代々伝わる正興先生直筆の「徳於拠」から伺われます。(右写真参照)

「徳於拠」は、論語の君子に関する言葉
「子曰、志於道、**據於徳**、依於仁、游於藝」
(子曰わく、道に志し、**徳に拠り**、仁に依り、芸に遊ぶ。)にあります。



「徳於拠」の意味は、「日々の生活の中で身に付けた正しい行いを心のより所にする」といったところでしょうか。(ちなみに「志於道」は、ひととして正しい道を志す。「依於仁」は、思いやりの心を大事にする。「游於藝」は、教養をもとめる。※シンプルに訳しています)

「徳」を大切にする思いは、正興先生のご長男であり、校歌の作詞者でもある新保磐次先生に受け継がれます。そして、その思いは「高き徳器を成しぬべし」として100余年に渡って、今もなお歌い継がれています。



6月の全校朝会では、校祖会を代表され榎本博様、神村博様から、「徳」や「学ぶことの大切さ」などの正興先生の教えや校祖祭について、お話をいただきました。

曾根小学校には、このような先人の教えを大事に受け継いでこられた方々と素晴らしい伝統、歴史があります。あらためて創立150周年を迎えた曾根小学校を誇りに思いますとともに、未来に向けてしっかりとみなさんとともに、歩んでいきたいと思ひます。

6年生佐渡修学旅行 6月8日(水)～9日(木)

6年生が佐渡修学旅行に行ってきました。出発時は雨模様でしたが、現地では2日間とも天候に恵まれ、すべての活動が予定通り実施できました。6年生の子どもたちが、一段階ステップアップできた有意義な修学旅行でした。



佐渡汽船のデッキで



砂金取り体験(西三川)



たらい舟乗船(小木港)



陶芸体験



鬼太鼓のみなさんと(夕食時)



佐渡金山・北沢浮遊選鉱場



佐渡金山・道遊の割戸



トキの森公園



買い物タイム

130周年の校祖祭(全校朝会) 6月17日(金)

校祖会役員の皆様から、校祖 新保正與先生の生い立ちや業績、曾根小学校創立の経緯、校祖祭の伝統、曾根小学校に対する先人の思いなどについて、御講話をいただきました。



校祖会 神村様の講話



校祖会 榎本様の講話